

桜スタジアムと長居公園パークマネジメント

セレッソ大阪スポーツクラブ理事
桜スタジアム募金団体理事

堤 道明

長居公園の概況

面積65.7haの大規模公園

**ヤンマースタジアムなどの
スポーツ施設と緑豊かな植
物園などが配置されている**

**セレッソ大阪スポーツクラ
ブが代表企業として指定管
理者に（2021・3月末まで）**

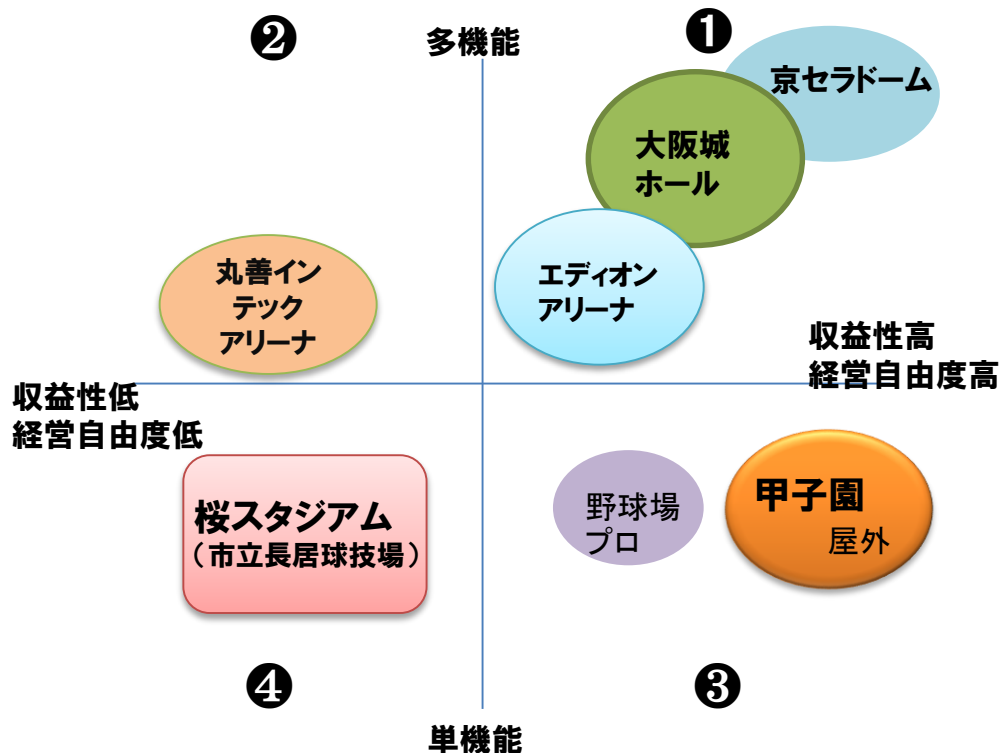
**年間約900万人来園者（推計）
うち施設利用者250万人**



スタジアム・アリーナに関する一考察



大阪周辺のスタジアム・アリーナ類型



①群 収益性の高さは経営の自由度によるところも大きい

スポーツイベント以外の多様な収益源確保

②群 丸善アリーナ(大阪市中央体育館)に見られるような公設置型はアマチュアスポーツの振興

③群 利用料収入の客単価UP。甲子園は特異な存在。

④群 通常は施設単体ではなく地域での経済効果を目指す(自治体の施策として)

①・③群は命名権など利用料収入以外の収入源獲得を目指す。楽天・DeNAなどは経営の自由度を獲得し、広告・飲食などの収入確保

桜スタジアム構想



【改修の特徴】

1. 臨場感を高める
タッチラインから最前列約6m
2. 欧州型観戦スタイル
収容人数(2万5千人) < 高収益
VVIP/VIPルーム・ラウンジ
3. 複合機能(検討中)
セレッソFanShop、駐車場、
保育機能など
4. 災害時の避難機能

桜スタジアム構想(イメージ)



臨場感



記者席(多目的利用)



高収益化(VIPラウンジ)



Fan Shop



桜スタジアム収益UPに向けて



現状、④群にある桜スタジアムを如何に③群に近づけるかが課題

・市からの**業務代行料 約7千万をゼロ**にすることを条件に、2021年から30年間の指定管理を受ける予定

従って、収益UPに向けては

- ①スポーツイベントでの利用料収入の単価UPが不可欠
- ②併せて、命名権・広告収入などの新たな収益源確保を



セレッソ大阪の株主でもある大阪市の強力なご支援

- ①施設命名権をセレッソ大阪SCに
- ②スタジアムの広告を自主財源化

加えて、施設単体ではなく長居公園全体で
総合的な採算も視野に取り組む



施設単体ではなく長居公園全体で総合的な採算も視野に取り組む 市は、大阪城や天王寺公園同様、民間投資前提の管理を導入予定

大阪城公園



大阪城パークセンターHPより

天王寺公園



近鉄不動産HPより

2020 夏頃にコンペ実施 公園に投資し管理する企業が選定される？
2021 4月から、選定企業による長居公園の管理・運営がスタート

桜スタジアムが、長居公園活性化の中で果たす役割も検討する